

2車線から4車線へ

交通混雑の緩和と
安心・安全の確保により
地域産業を支援します

3 定時性・速達性の高い物流ルートの形成により地域産業を支援

定時性・速達性の高い物流ルートが形成され、地域産業を支援します。

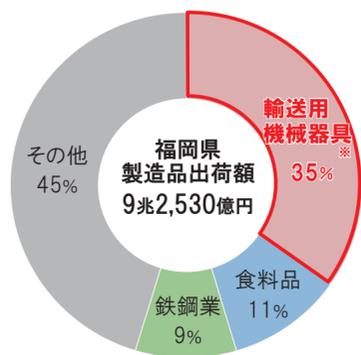
- 国道201号沿線では自動車部品メーカーが集積し、博多港等から苅田・中津の自動車完成メーカーに輸送されています。
- 4車線化により、事故・渋滞等の大きな影響を受けずに走行できるようになることから、自動車部品輸送の効率化が図られ、自動車産業への更なる貢献が期待されます。

自動車産業を支える物流ルートを強化



(参考)福岡県の自動車産業の状況

福岡県製造品出荷額



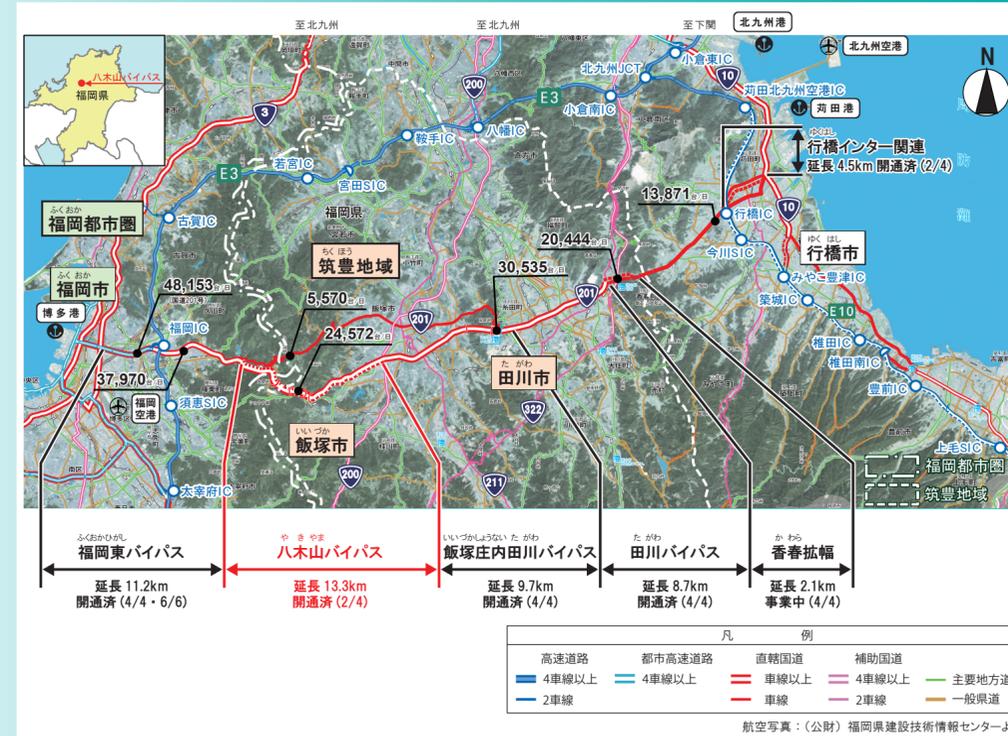
港湾別貨物量の九州ランキング

自動車部品輸入量			完成自動車移出量		
順位	港名	トン数	順位	港名	トン数
1	北九州	635,536	1	北九州	2,077,447
2	博多	443,496	2	苅田	1,785,430
3	熊本	16,865	3	中津	1,510,619
4	伊万里	1,249	4	博多	538,787
5	細島	1,114	5	西之表	351,000

北部九州※自動車生産台数と全国シェア



整備状況



(参考)八木山バイパスの経緯等

- ・S52.5 事業許可、工事着手
- ・S60.2 暫定2車線供用(日本道路公団管理)
- ・H26.10 国土交通省管理

お問い合わせ

国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所

〒813-0043 福岡市東区名島3-24-10 TEL 092-681-4731(代)

ホームページ <http://www.qsr.mlit.go.jp/fukkoku/>

Facebook <http://www.facebook.com/fukkoku.qsr.mlit.go.jp>

国土交通省 九州地方整備局 北九州国道事務所

〒802-0803 北九州市小倉南区春ヶ丘10-10 TEL 093-951-4431(代)

ホームページ <http://www.qsr.mlit.go.jp/kitakyu/>

Yakiyama Bypass Construction summary

国道201号 八木山バイパス 4車線化事業



筑穂トンネル付近から飯塚方面を望む

八木山バイパス4車線化の整備効果

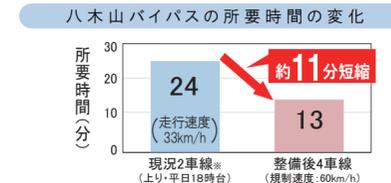
1 円滑な移動の確保による地域交流の向上

交通混雑の緩和により、筑豊地域と福岡都市圏の交流を促進します。

4車線区間にはさまれた2車線区間のため、交通が集中する時間帯で混雑が発生



交通が集中する時間帯でもスムーズに走行



2 対面通行区間の解消による安全・安心の確保

対面通行区間の解消に伴う重大事故等の減少により、道路利用者の安全・安心を確保します。

現況2車線では対面通行のため、正面衝突事故が多発



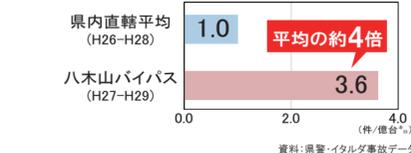
約6時間通行止め 至行橋市 ▲正面衝突事故の発生状況(穂波西IC付近)



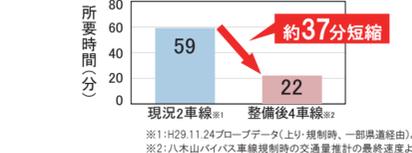
約7時間通行止め 至福岡市 ▲スタック車両の発生状況(篠栗IC付近)

重大事故が減少するとともに定時性も確保

正面衝突事故率の状況(現況2車線)



事故発生時の所要時間の変化



事業概要

概要

- 国道201号は、福岡県北部の横断軸として、人流・物流を支えるための重要な路線です。
- 八木山バイパスは、福岡都市圏と筑豊地域を結ぶ幹線道路ですが、4車線道路に挟まれた暫定2車線区間です。
- 並行する現道は、異常気象時通行規制区間*を2区間抱える交通の難所となっています。
- 早期かつ確実な整備のため、有料道路事業と公共事業を組み合わせた整備により4車線化事業を進めていきます。

位置



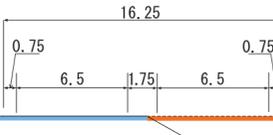
諸元

- ・路線名：一般国道201号
- ・起点：福岡県糟屋郡篠栗町篠栗
- ・終点：福岡県飯塚市弁分
- ・延長：13.3km
- ・車線数：4車線
- ・種級区分：3種2級
- ・設計速度：60km/h

【標準断面図】(単位:m)

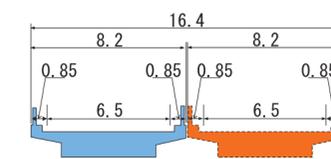
土工部

< 現況 > < 計画 >



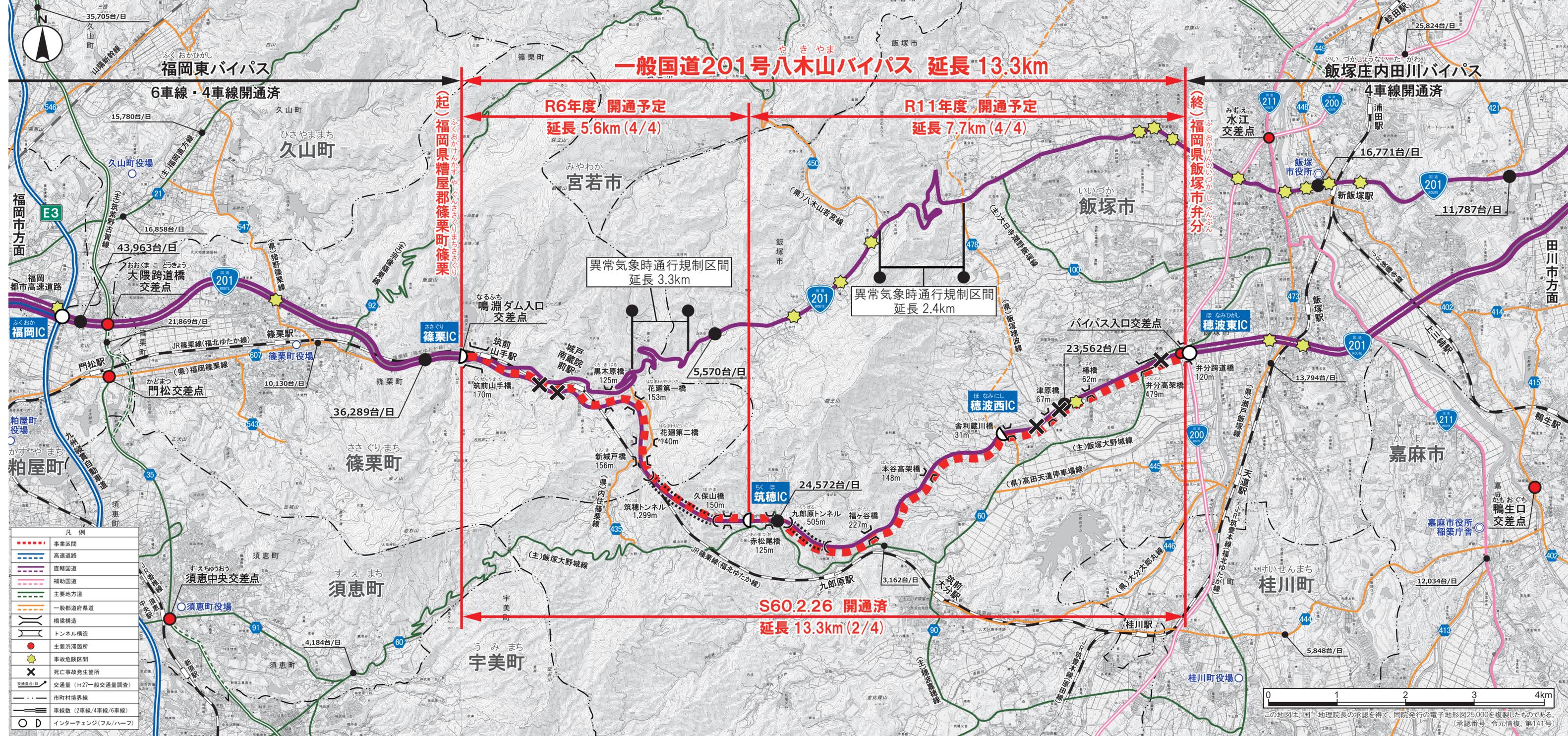
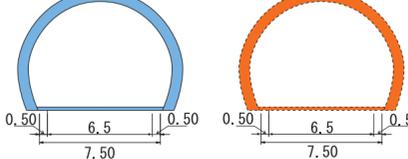
橋梁部

< 現況 > < 計画 >



トンネル部

< 現況 > < 計画 >



凡例	
	事業区間
	高速道路
	直轄国道
	補助国道
	主要地方道
	一般都道府県道
	橋梁構造
	トンネル構造
	主要渋滞箇所
	事故危険区間
	死亡事故発生箇所
	交通量(日27一般交通量調査)
	市町村境界線
	車線数(2車線/4車線/6車線)
	インターチェンジ(フル/ハーフ)

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25,000を複製したものである。(承認番号 令元情復 第141号)